

配色・形態・素材のイメージについての検討

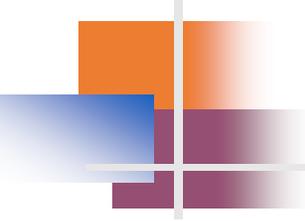
文化学園大学 杉田 秀二郎

(一社)日本ファッションスタイリスト協会 あいざわあゆみ





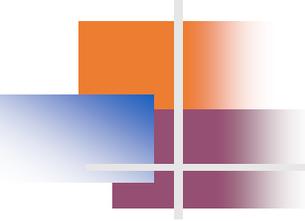
研究課題名	スタイリングイメージの差異によるスタイリングの妥当性の検討		
論文名	各スタイリングにおけるスタイリングイメージの認識の特性の検討		
	氏名	所属研究機関・部署・職	役割分担等
研究代表者	杉田秀二郎	文化学園大学・総合教養・教授	研究統括 ・研究計画の立案 ・調査設計 ・データ分析
研究分担者	あいざわあゆみ	一般社団法人 日本ファッションスタイリスト協会・ 代表理事	・スタイリングの監修 ・調査対象者の取りまとめ



1. 目的

- 配色・形態・素材のイメージについて、スタイリングマップの未学習者と既習者に差違（違い）があるか否かを検討する
- 仮説
 - 学習前（未学習者）と学習後（既習者）では、判断が異なるのではないか

（研究および調査方法について、文化学園大学研究倫理委員会の承認済み）

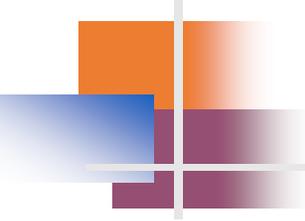


2. 方法

- 対象
 - ファッションや美容の専門学校の学生、計567名（当初の予定数）
- 期間
 - 2023年9月～11月
- 実施方法
 - Googleフォームで調査票を作成し、学校ごとに依頼して各自がそこにアクセスして回答

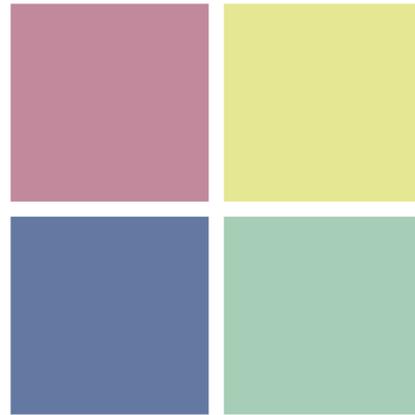


- 電子版調査票 (Web上のアンケートフォーム)
 - 属性: 性別・年齢・学年
 - 色彩や造形等に関する学習の有無
 - ファッションへの関心の程度

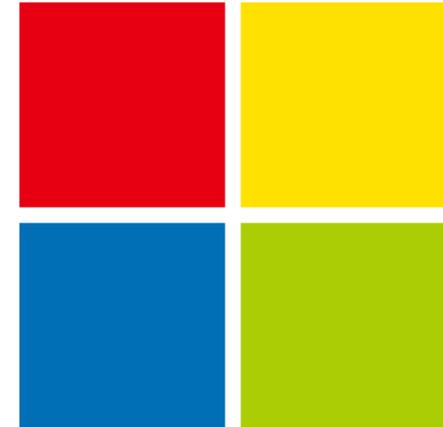


配色

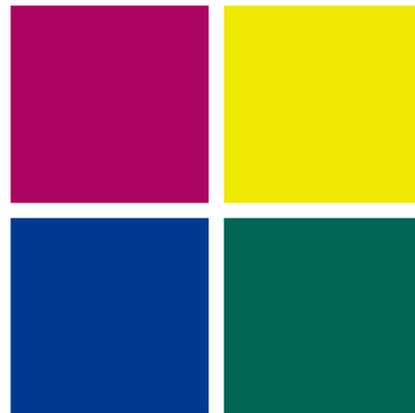
- アクア



- ブライト



- クリスタル

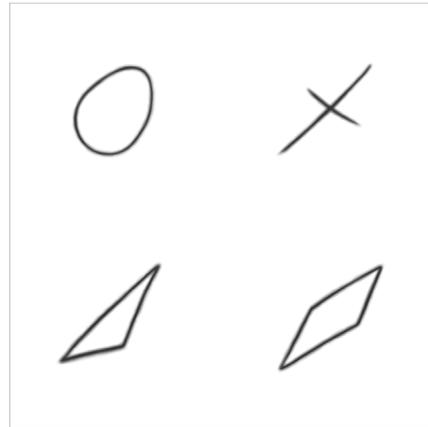


- アース

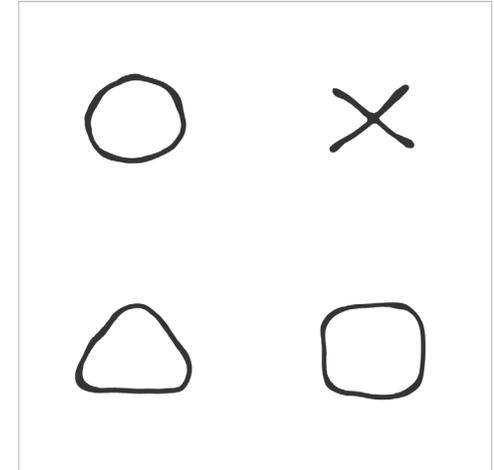


形態

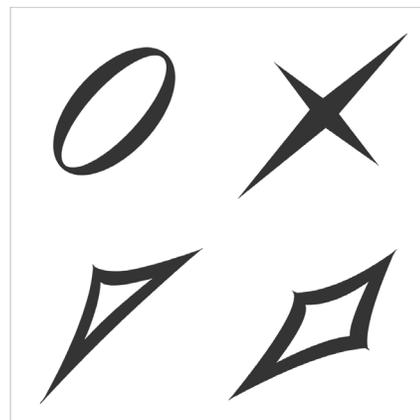
■ アクア



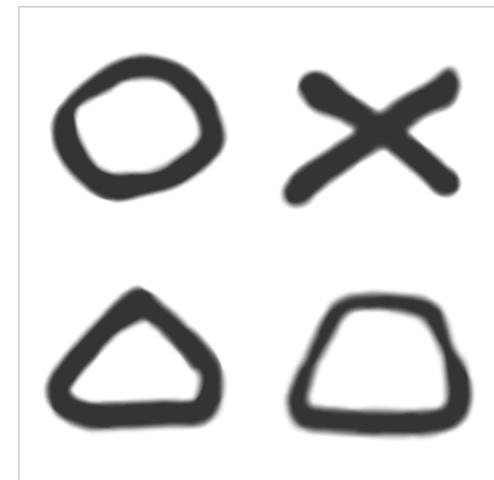
■ ブライト



■ クリスタル



■ アース



素材のイメージ

■ アクア

- 「なめらかな肌ざわり」



なめらかな肌ざわり

■ ブライト

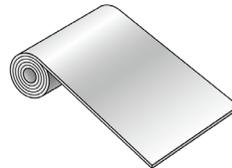
- 「やさしい輝き」



やさしい輝き

■ クリスタル

- 「メタリックな輝き」



メタリックな輝き

■ アース

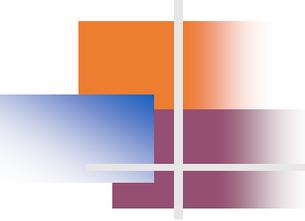
- 「自然な風合い」



自然な風合い

ワード(12種類)

- 4つのテイストを提示し、それを最もよく表すワード、2番目によく表すワード、3番目によく表すワードを選択
 - さらにその1番目、2番目、3番目の要素が含まれる程度を5段階で判定
- (アクアテイスト)
 - フェミニン
 - コンサバ
 - 清楚
- (ブライトテイスト)
 - カジュアル
 - ポップ
 - スポーティー
- (クリスタルテイスト)
 - シャープ
 - モード
 - フォーマル
- (アーステイスト)
 - ナチュラル
 - クラシック
 - エスニック

- 
- 分析方法
 - 単純集計
 - クロス集計
 - 学習前後で2グループに分けて比較
 - 学習前(未学習群)・学習経験あり(既習群)
 - ワードの判定が異なるか否かを検討(t 検定)

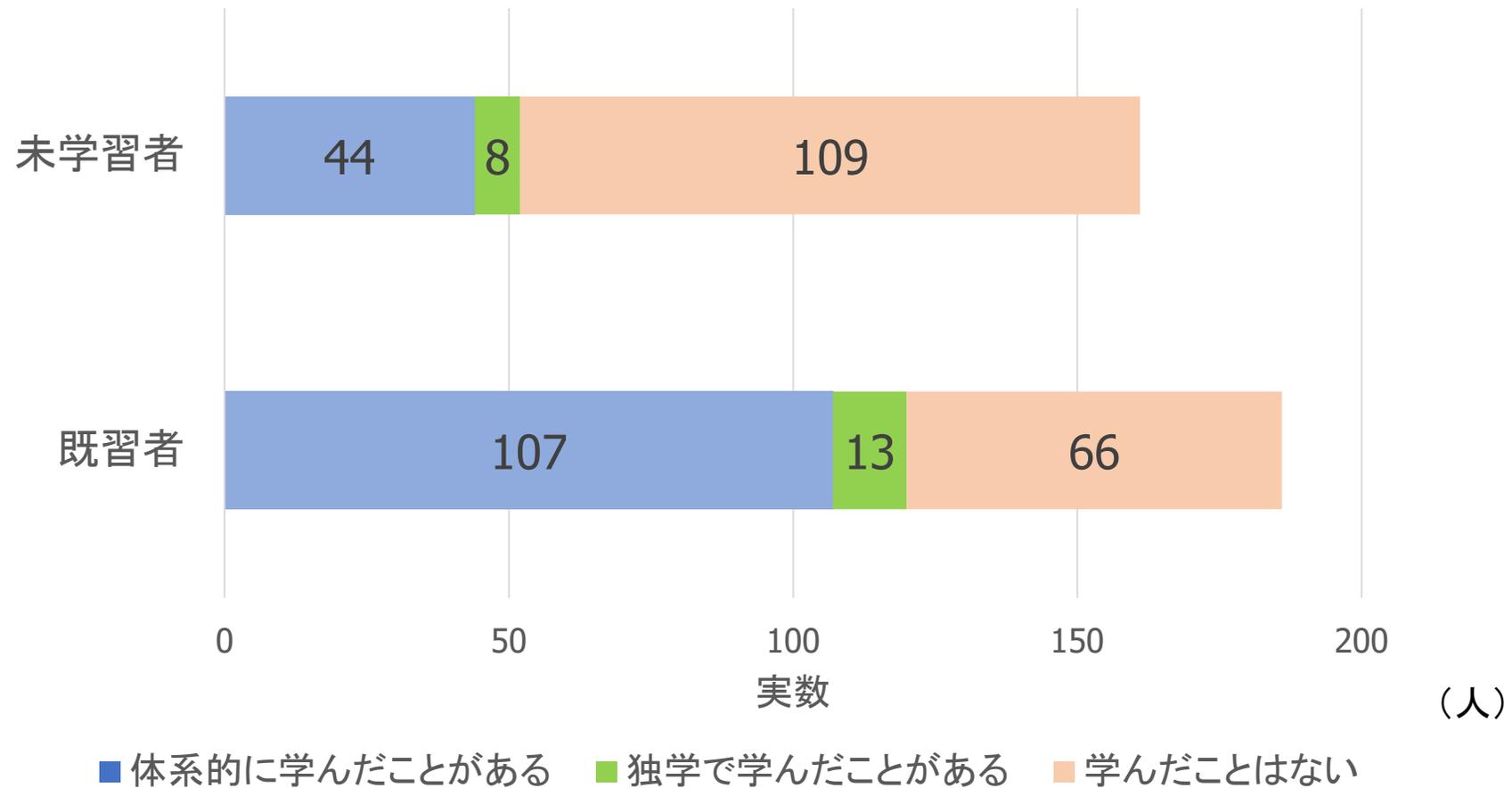
4. 結果

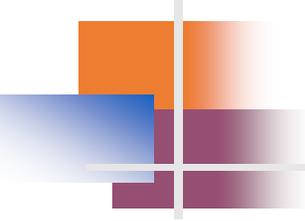
- 回答者の属性
 - 回答者数 352名/567名 (回収率62.1%)
 - 未学習者162名 (46.0%) 既習者190名 (54.0%)
 - 性別 男性73名 女性271名 不回答3名、無回答5名
 - 年齢 18～24歳 (平均18.8歳 20歳までで98.4%)
 - 色彩や造形に関する学習の有無
 - ファッションへの関心の程度
- 未学習者群と既習者群とで、年齢・学年以外に差なし→
比較可能

学習前後による比較

- グラフの縦軸(0~5)
 - イメージを最もよく表すワード
 - 2番目によく表すワード
 - 3番目によく表すワード
 - さらに、それぞれの要素が含まれる程度を1~5の5段階で判定
 - (イメージを表すものとして選ばれないワードもあるが、それらは選ばれたワードと区別するために0として計算)

未学習・既習別の学習経験

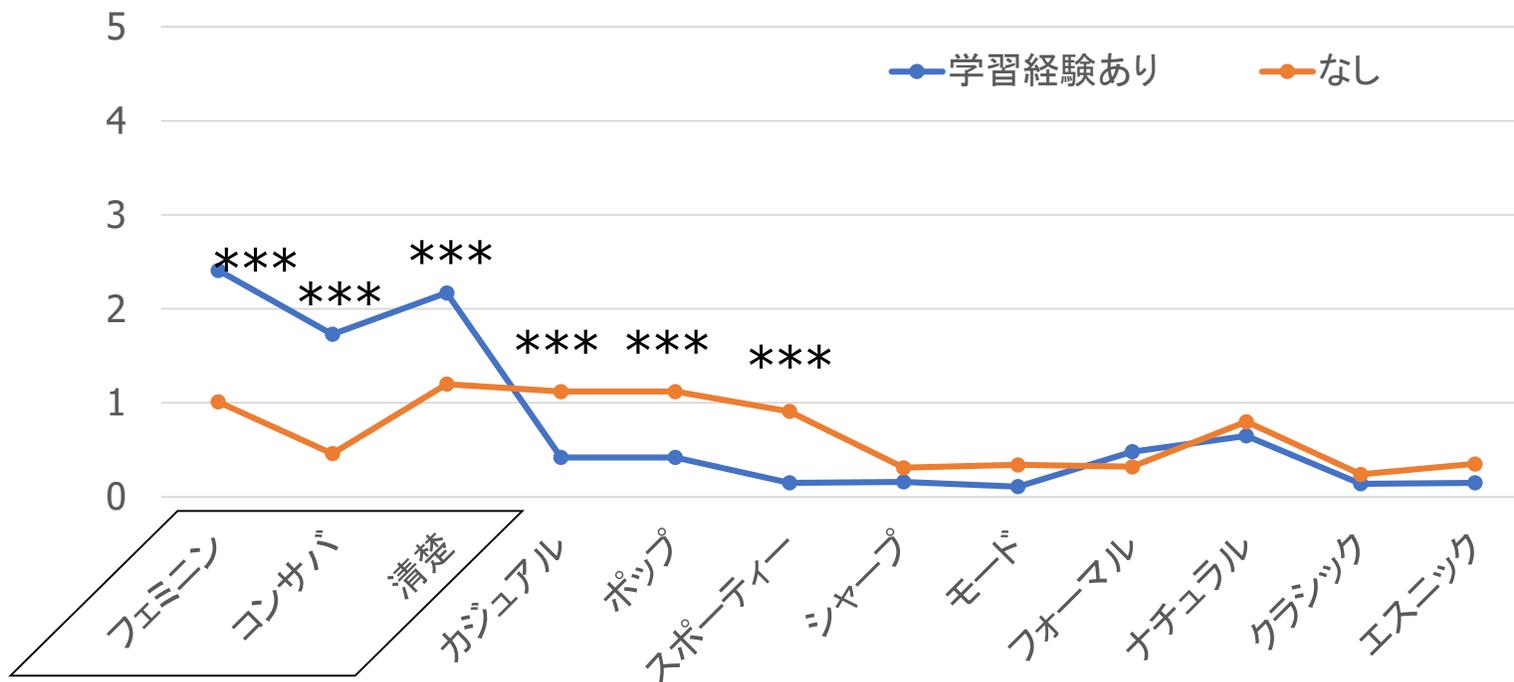




(スタイリングイメージとの比較)

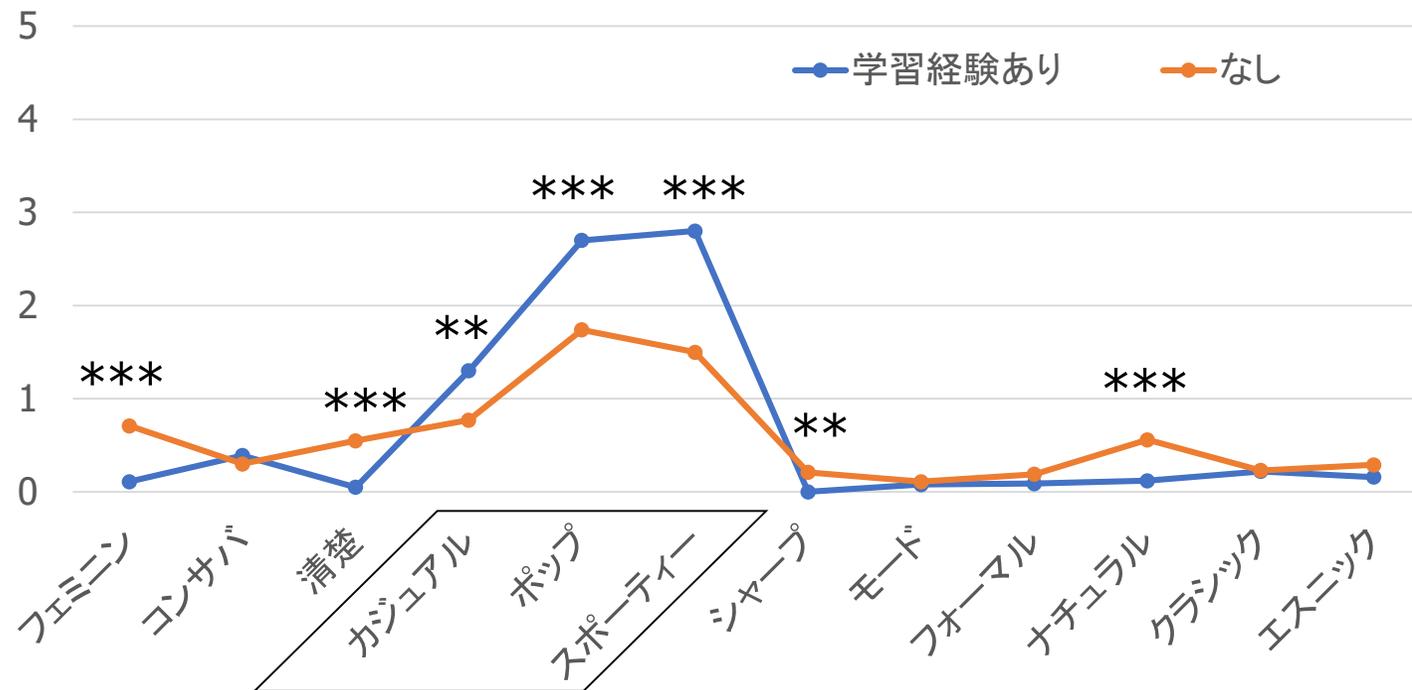
- 未学習者と既習者とは、ある程度差が見られた
- ただ、スタイリングのイメージほどの大きな差異は見られなかった

配色「アクア」のイメージ



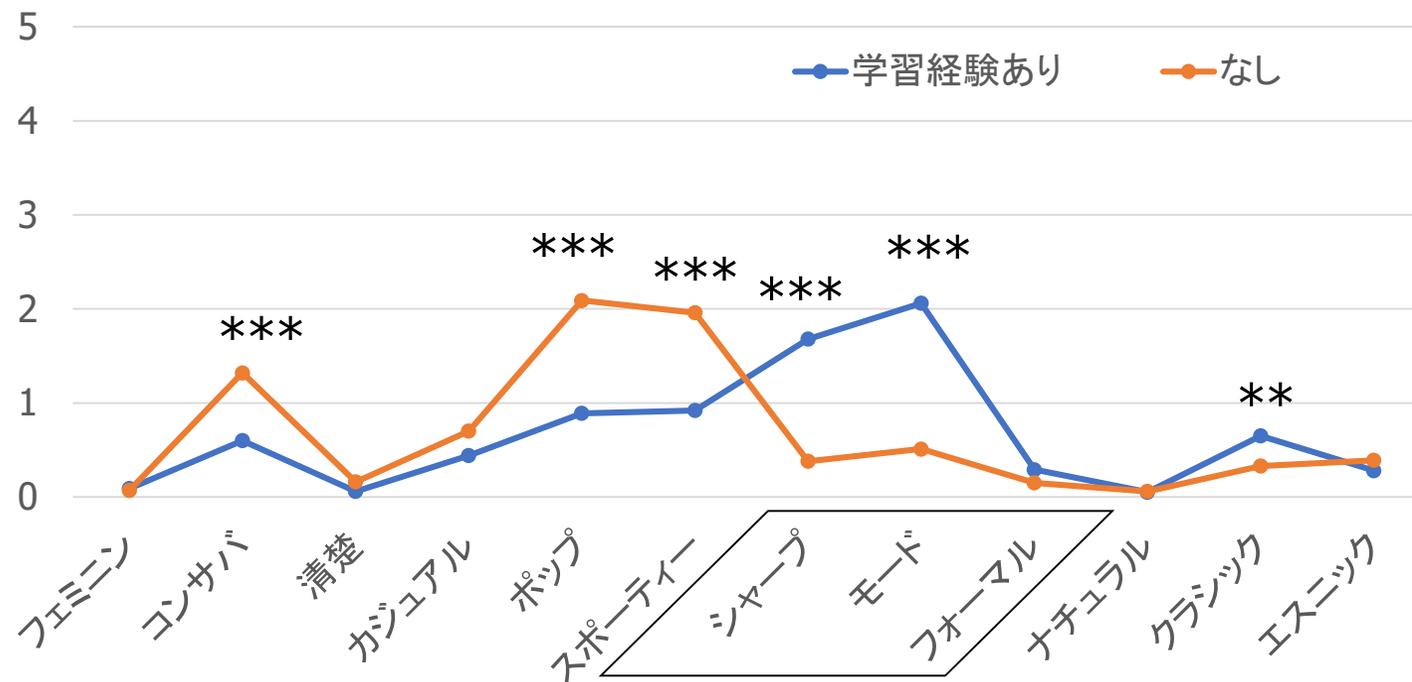
*** $p < .001$

配色「ブライト」のイメージ



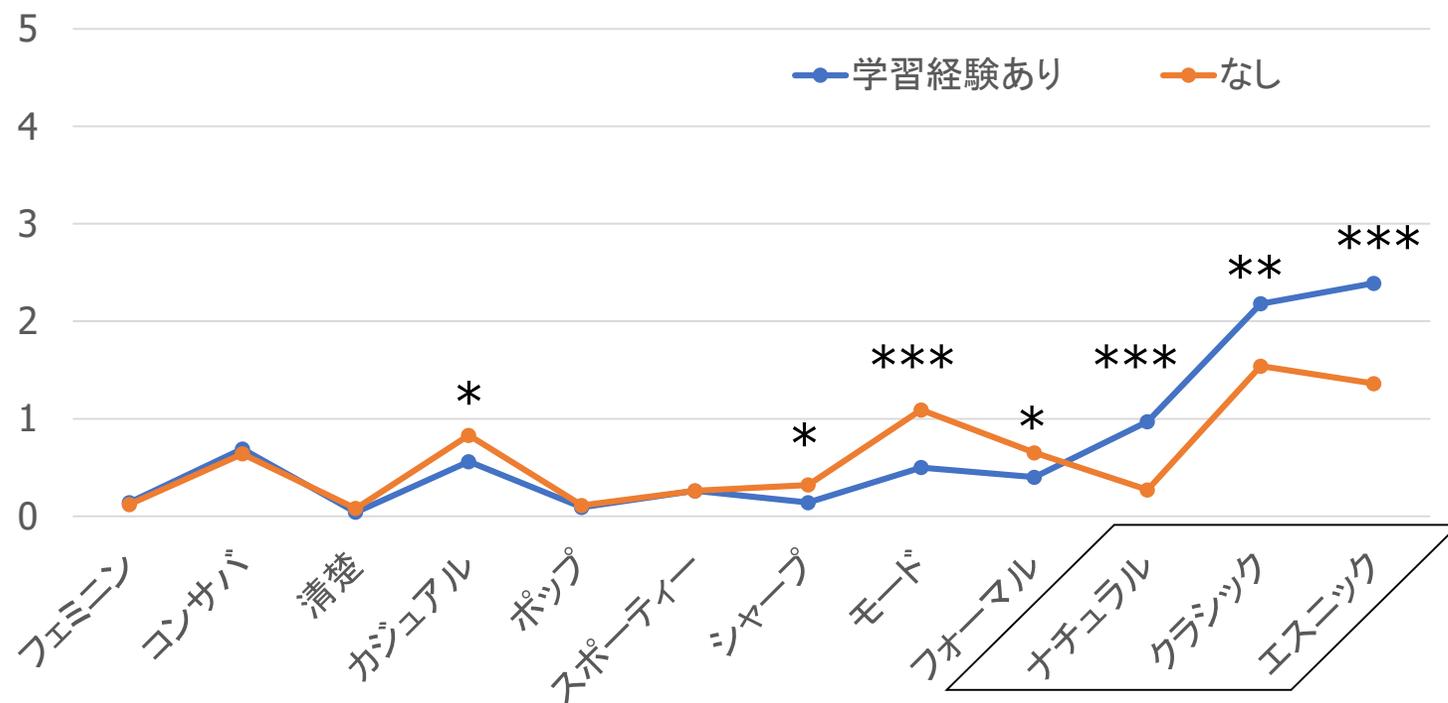
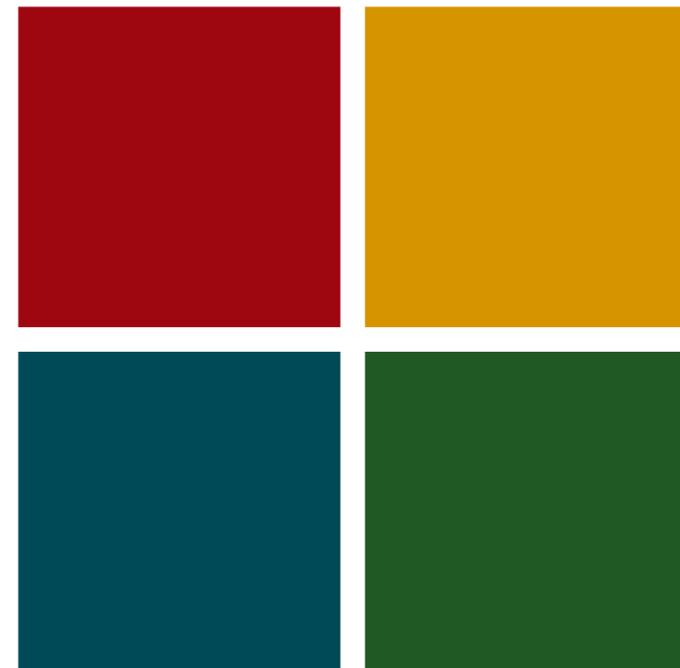
** $p < .01$, *** $p < .001$

配色「クリスタル」のイメージ



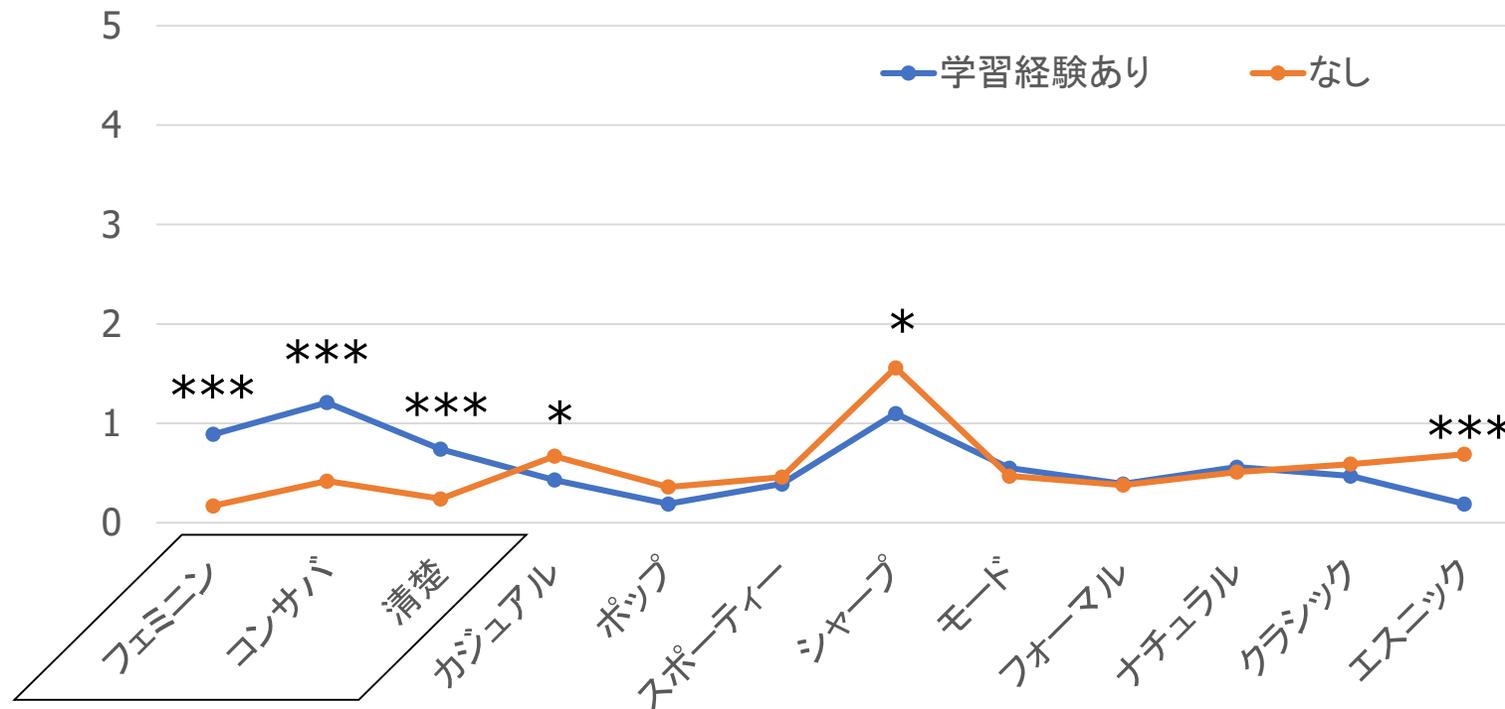
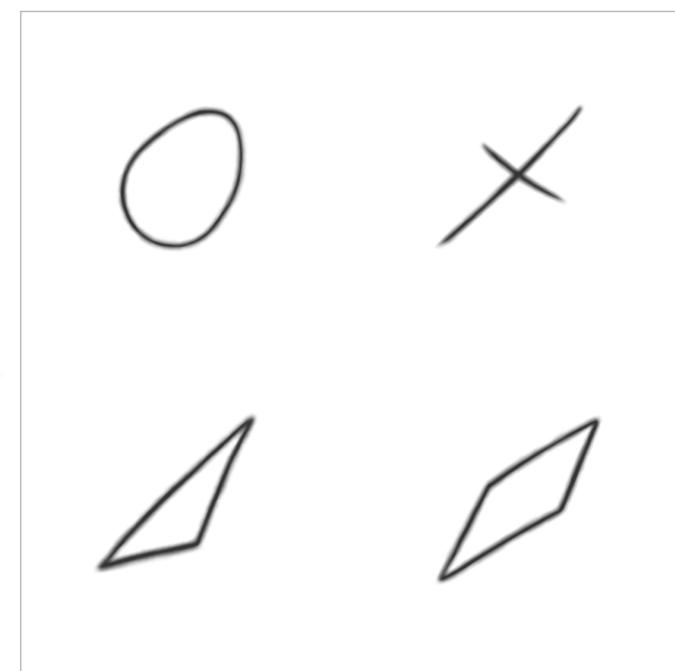
** $p < .01$, *** $p < .001$

配色「アース」のイメージ



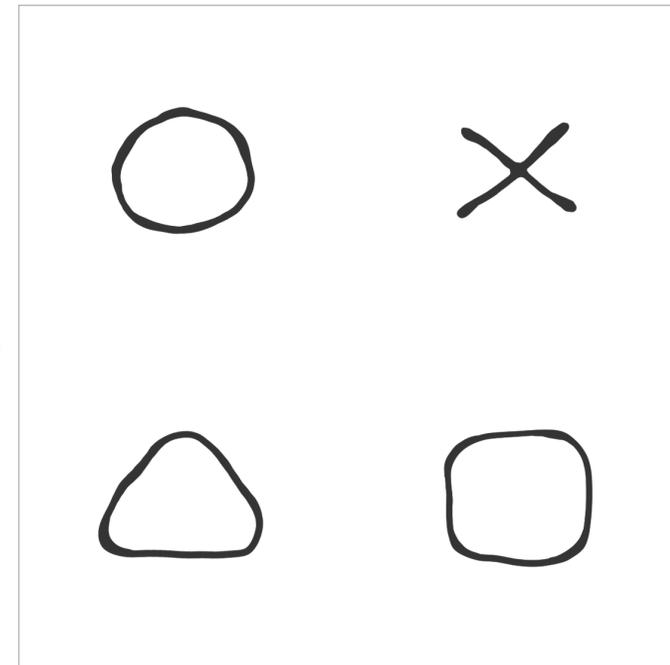
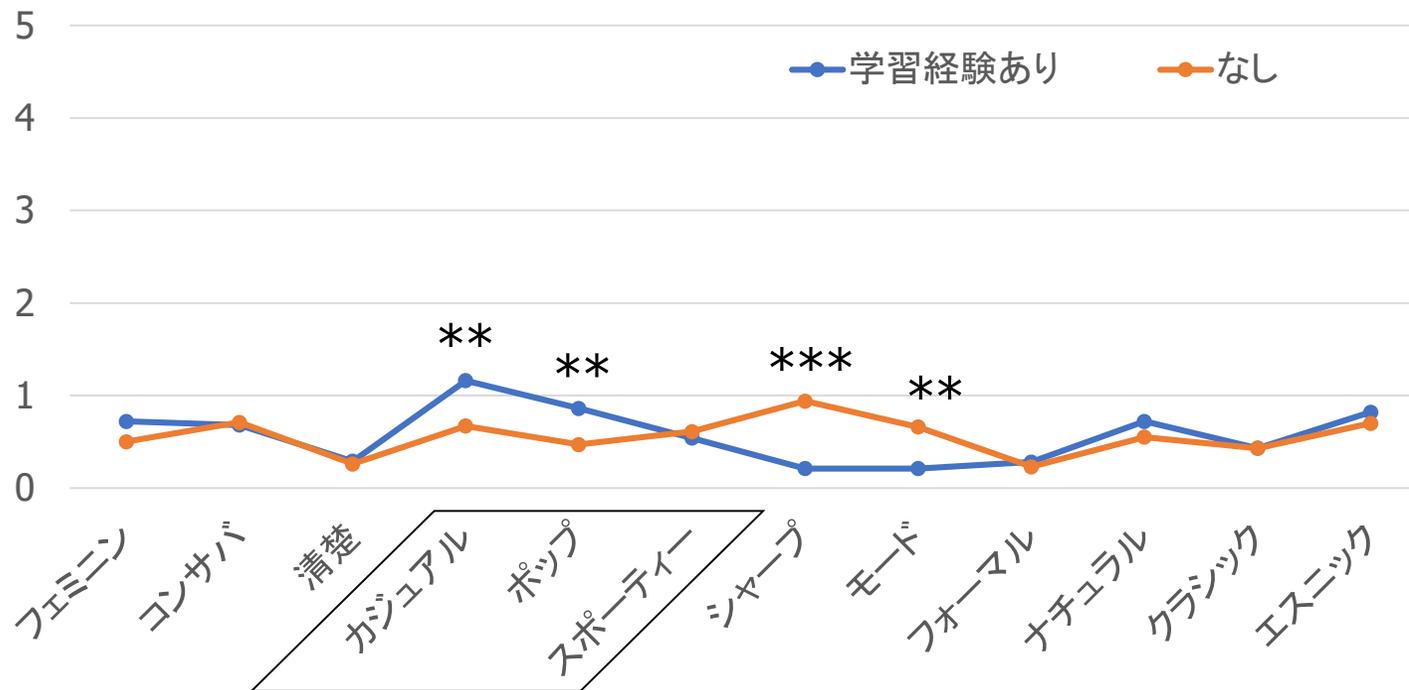
* $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$

形態「アクア」のイメージ



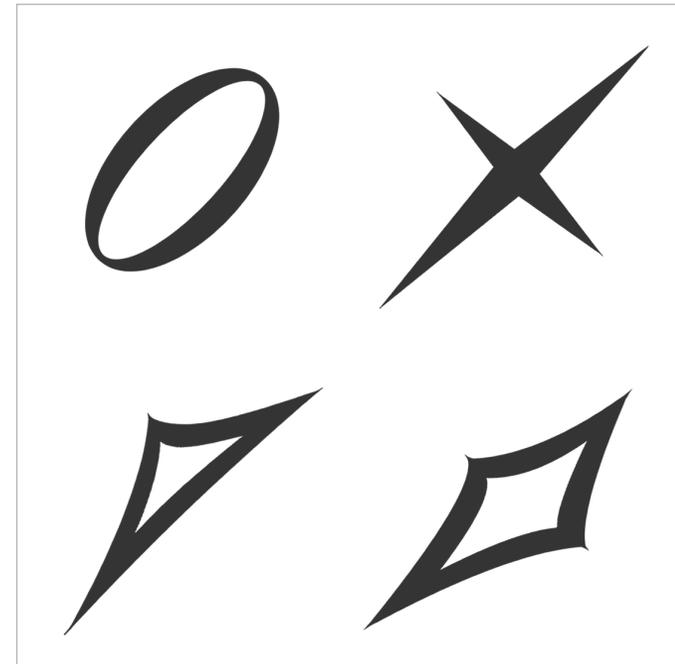
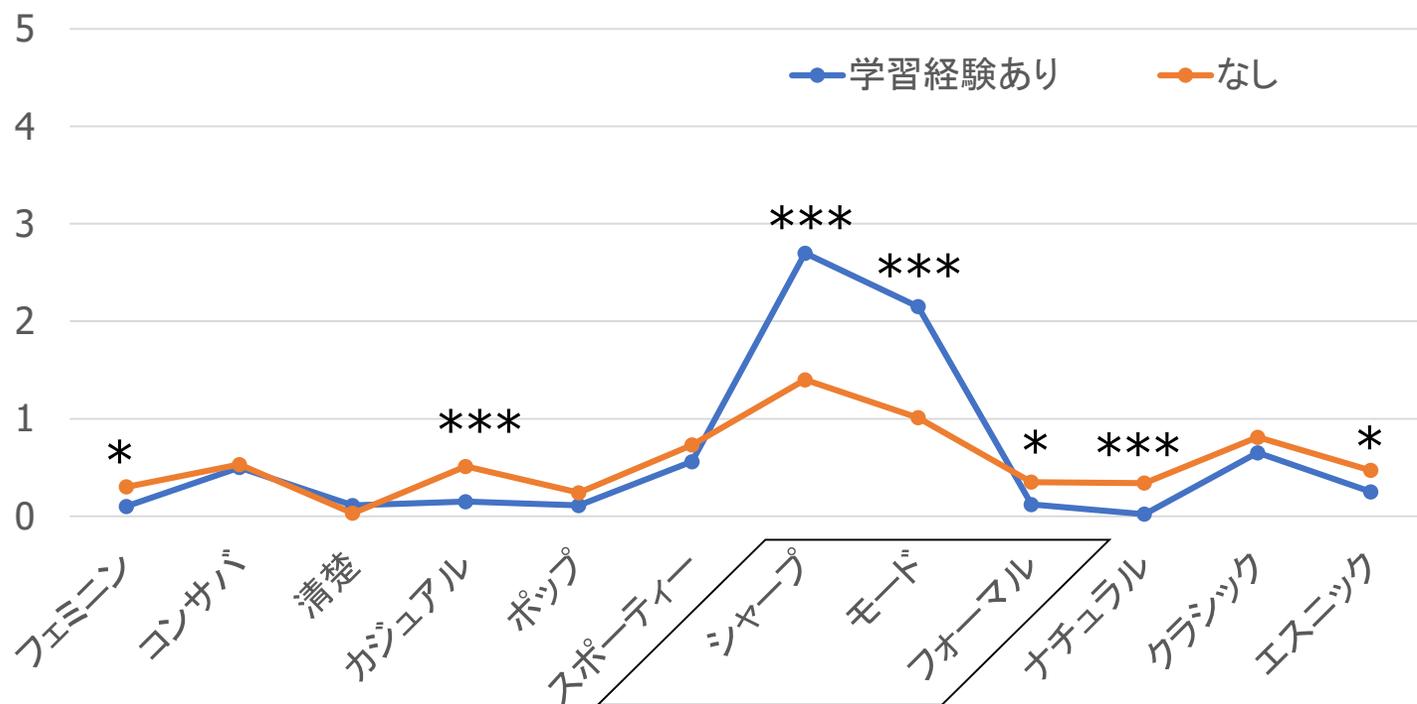
* $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$

形態「ブライト」のイメージ



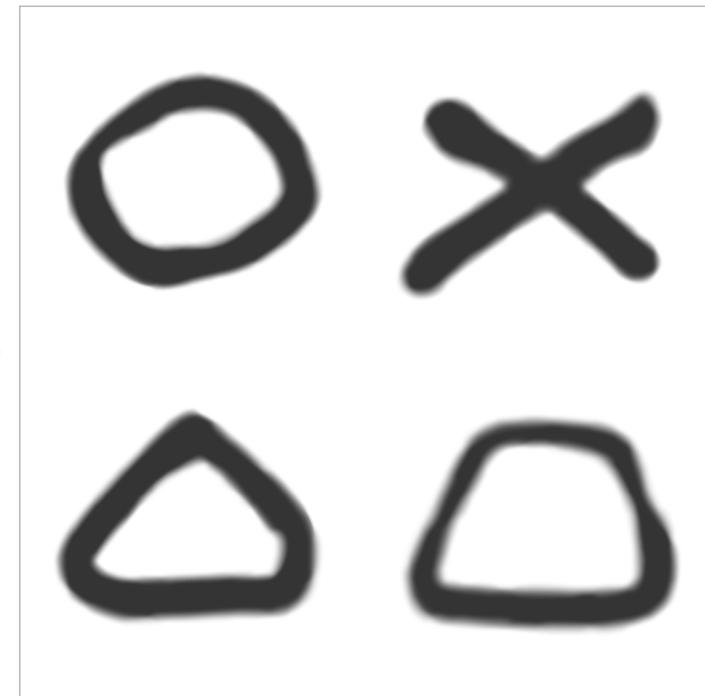
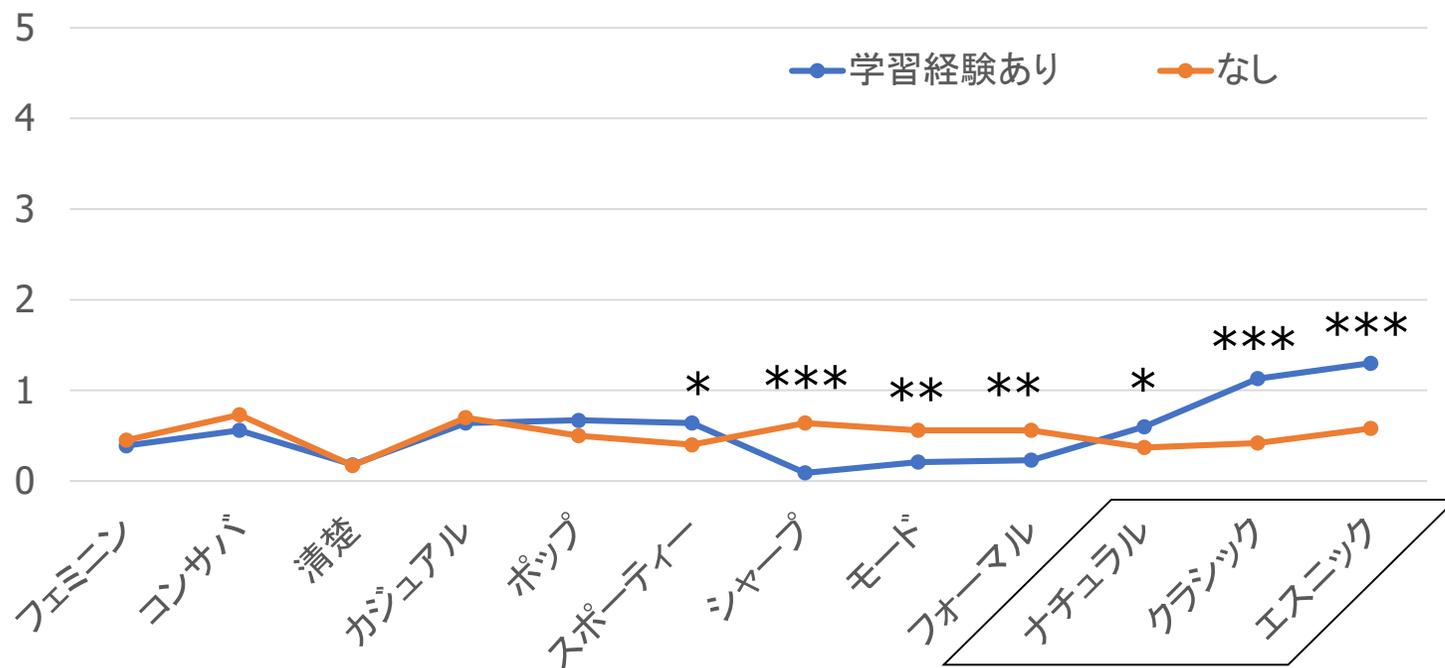
* $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$

形態「クリスタル」のイメージ



* $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$

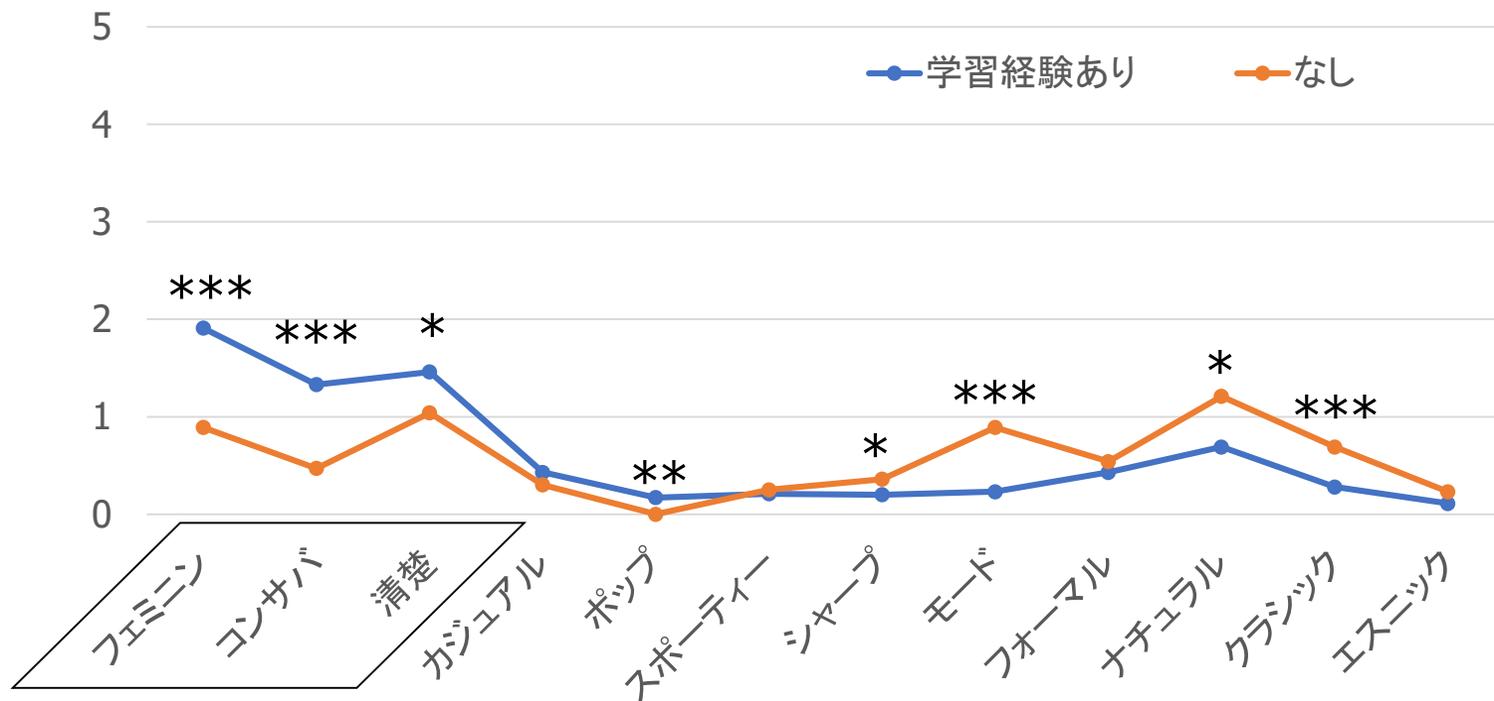
形態「アース」のイメージ



* $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$

素材「アクア」のイメージ

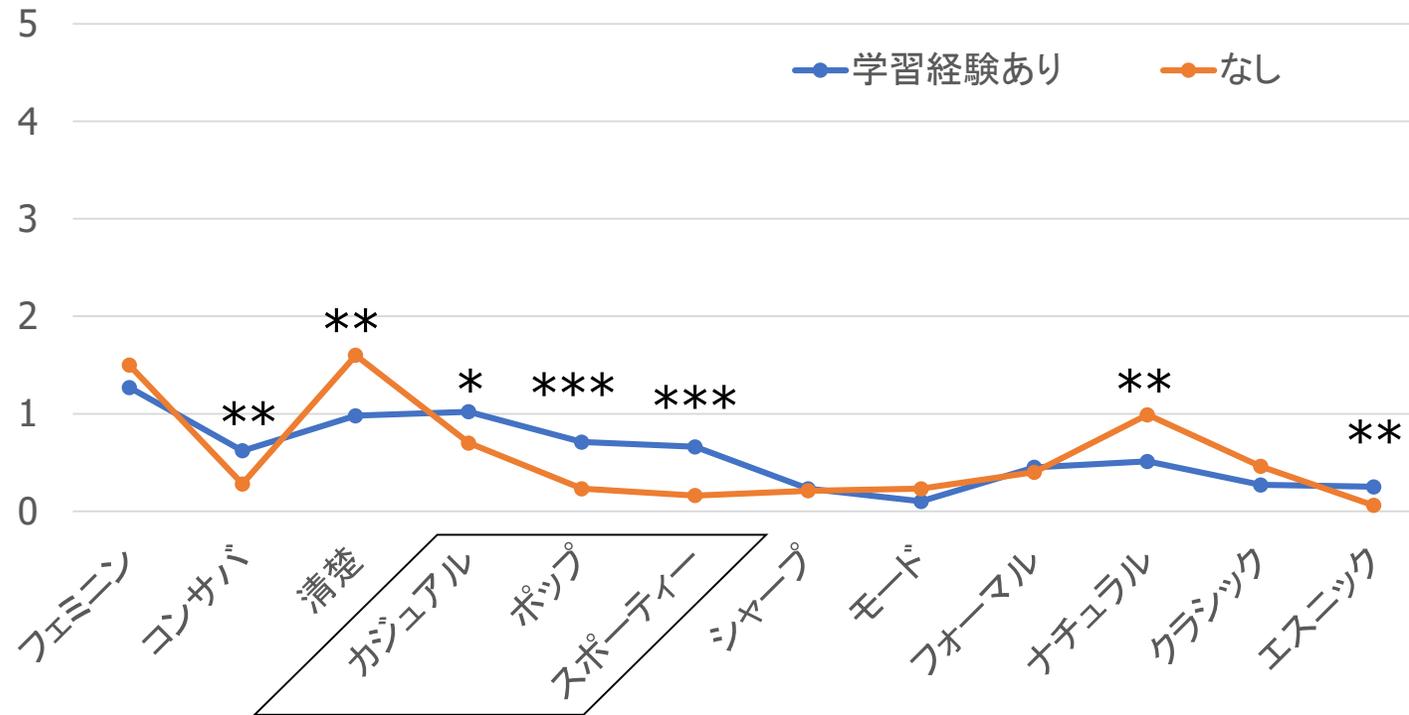
なめらかな 肌ざわり



* $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$

やさしい 輝き

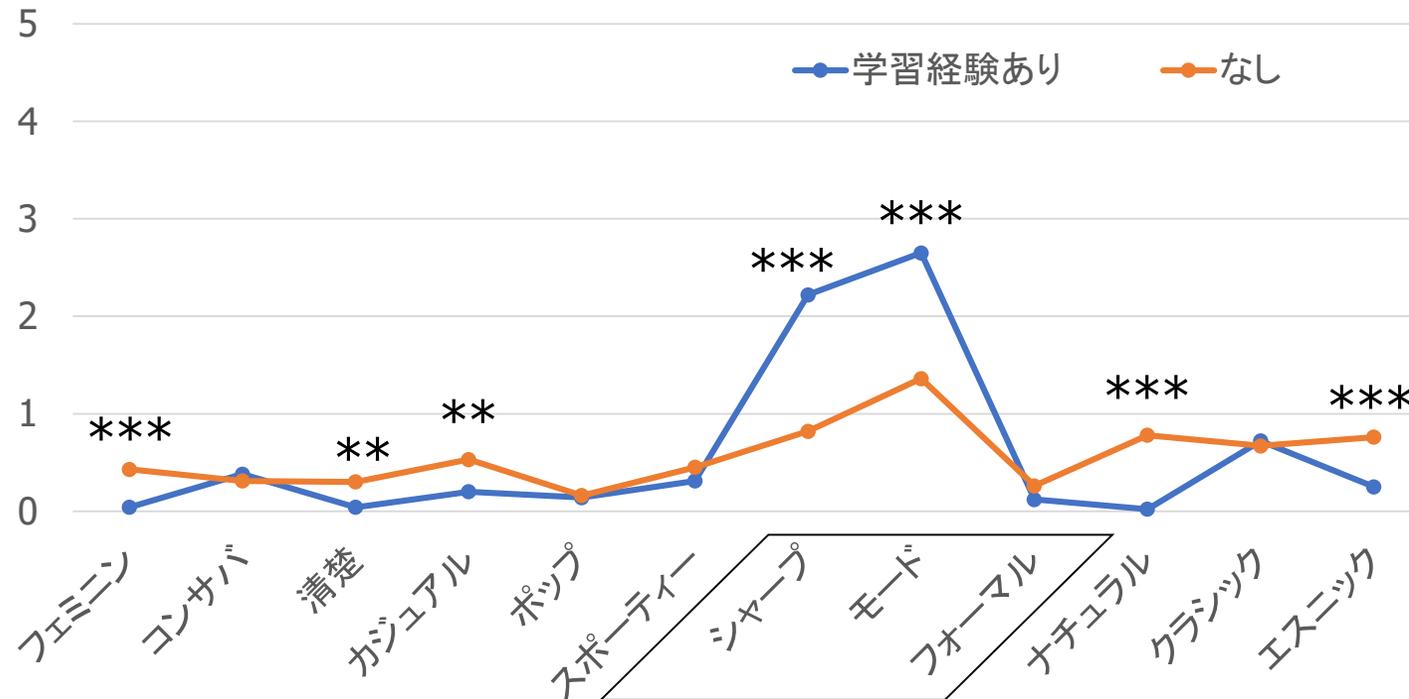
素材「ブライト」のイメージ



* $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$

メタリックな 輝き

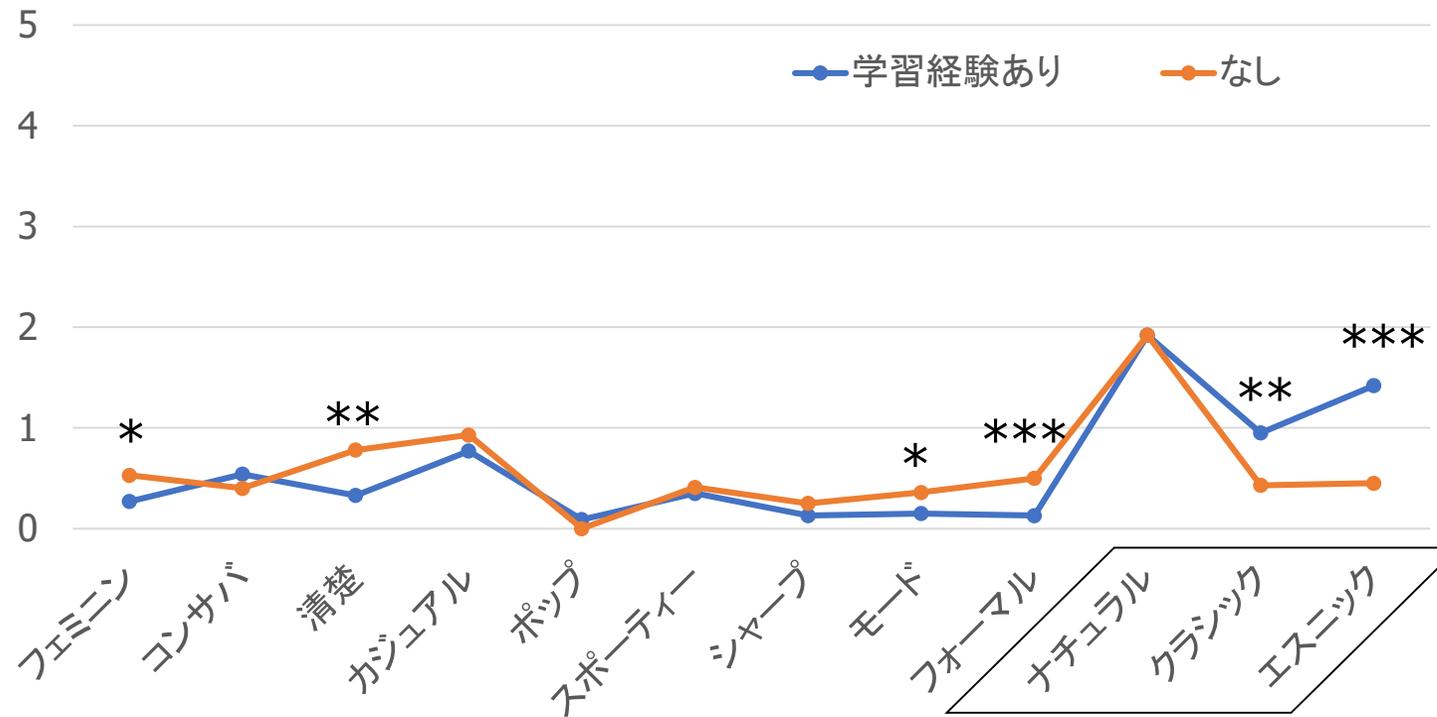
素材「クリスタル」のイメージ



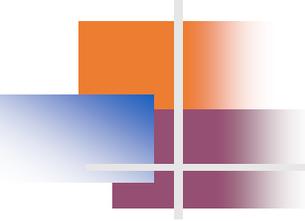
** $p < .01$, *** $p < .001$

自然な 風合い

素材「アース」のイメージ



* $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$



自由記述から(抜粋)

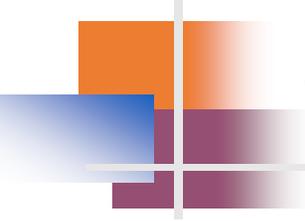
問「わかりにくかった、答えやすかったなどがありましたら...」

■ 未学習者

- 「イメージを表す言葉が想像しづらく、答えづらかった」
- 「質問の意図が分からない」
- 「全てがわからなかった」

■ 既習者

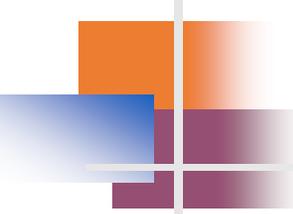
- 「質問内容が難しかった」



結果のまとめ

- テイストをほぼ反映している(特に既習者)
- 配色が最も判断しやすい

- (スタイリングイメージと比較して)
 - スタイリングイメージよりは数値の差が小さい
 - スタイリングイメージよりは数値自体が高くない



5. 考察

■ 仮説

- 学習前後(未学習者と既習者)により、判断が異なるのではないか
 - →仮説通り、異なった

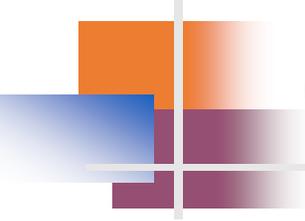
■ 課題

■ 既習者

- 平均して3(中間)を越えるものはなかった
- 難しかったというコメントも

■ 未学習者

- 質問の意図やワードの意味がわからないというコメントも少なくなかった
(判断が難しいというだけでなく、質問の意味がわからない場合も→それも含めて未学習者と考えるのか?)



6. 結論

- 未学習か既習かによって、配色・形態・素材のイメージの判定が異なった